

川崎市宮前区のアツバスマレ *Viola mandshurica* W.Becker var.  
*triangularis* (Franch. & Sav.) M.Mizush の記録

岩田芳美\*・岩田臣生\*

A record of *Viola mandshurica* W.Becker var. *triangularis* (Franch.&Sav.) M.Mizush in the  
Miyamae-ku Kawasaki City

Yoshimi Iwata\* and Tomio Iwata\*

アツバスマレ *Viola mandshurica* W.Becker var. *triangularis* (Franch. & Sav.) M.Mizush. は、神奈川県植物誌 (2018) によると、県内では三浦半島の城ヶ崎から江の島の海岸の草地、岩隙、ササ藪などに生える。本変種は城ヶ崎で初めて採集され、栽培されることも多く、時に逸出したものが内陸部でも見られるとされ、川崎市内でも 1988~2000 年の間に中原区、幸区、川崎区で採集された記録が記載されている。ただ、1988~2000 年の間の採集種に、普通種、変種などの記載はない。また、川崎市の種子植物相 (吉田ほか, 2016) にアツバスマレの記録はない。

筆者らは 2010 年頃より、宮前区内の幹線道路沿いのスマレ類分布状況を調べてきた。その中で唇弁が白色のアツバスマレの変種を国道 246 号と直線距離で 200m ほど離れた旧国道 246 号にて確認し、経過を観察してきた。調査当初より、注視してきた株は現在も生息し、新た小株が増え続けている。一過性の発生ではなく、現在地に定着していると思えるため、報告をすることとした。

また、上記の神奈川県植物誌には栽培種の逸出の懸念が示されているため、2 地点間及び近隣の住宅、マンションなどの敷地と近隣住宅地の道路を調べたが、付近にはアツバスマレは見られない。そのことから、このアツバスマレは国道 246 号若しくは歩道の工事等に伴い持ち込まれた土砂等に含まれていたものと推測される。

#### 観察記録

・国道 246 (宮前区東有馬) のアツバスマレ  
2011 年頃 5 株。2019 年 11 株。

10 年の間に送電線埋設工事を含む大規模な歩道改修工事が複数回あったが健在である。開花期間は直射日光の有無の関係か、開花の早い株、遅い株とあり 3 月中旬から 5 月中旬まで咲く。



図 1.アツバスマレ *Viola mandshurica* W.Bec  
ker var. *triangularis* (Franch. & Sav.) M.Miz  
ush.

・旧国道 246 (宮前区有馬) のアツバスマレ (図 1)

2013 年頃 10 株。2019 年 25 株。

現在は葉数 50 枚を越す大株もある。歩道と接する企業の駐車スペースにある株は 6 月に除草対象となるが、7 月には残された地上部の根元から小葉が育ち 10 月には元に戻っている。

文末になったがご教示をいただいた藤間熙子博士に感謝をする。

#### 引用文献

神奈川県植物誌調査会 (編), 2018. 神奈川県植物誌 2018. pp. 962-963, 神奈川県植物誌調査会・神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.

山田隆彦, 2008. スマレハンドブック. 104 pp., 文一総合出版, 東京.

吉田多美枝・佐藤登喜子・吉留憲子・佐崎藤子・佐藤ミツ子・白井美智子・白沢光代・武久春美・谷口紀美代・田渕まこと・林美

\*特定非営利活動法人 かわさき自然調査団

Kawasaki Organization for Nature Research and Conservation

幸・渡部富子, 2016. 川崎の種子植物相.  
川崎市自然環境調査報告 (VIII), 1-34. 川

崎市教育委員会・特定非営利活動法人か  
わさき自然調査団.